

令和5年度

自己点検・評価報告書

学校法人 MGL学園

太田動物専門学校

自己点検・評価委員会

令和6年5月31日

1. 学校の現況

学校名 学校法人MGL学園 太田動物専門学校

所在地 群馬県太田市台之郷町 1060-1

設置学科 商業実務専門課程 ペットビジネス学科

愛玩動物看護師学科

文部科学省認定 職業実践専門課程・高等教育の修学新支援制度対象機関

厚生労働省認定 専門職業教育訓練

群馬県指定 愛玩動物看護師養成所（法第 31 条及び法附則第 2 条）

2. 学校の特徴

①群馬県内のペット業界の要望に応じて、群馬県初の動物専門学校として設立

②ペット業界の代表団体である全国ペット協会と連携して、ペット業界が求める人材を育成しようと努力していること

③MGL 学園附属動物高度医療センターを持ち、実践的な実習を行っていること

④学園附属のペットショップを持ち、実践的な実習を行っていること

⑤卒業生のペット業界へ就職する割合が高いこと。卒業生でこの分野の有名人を輩出していること

⑥世界のトッププロが毎年来学し講演等をおこなうので、世界のトップの技術及び人間性に学生が直に触れることができること

⑦獣医師の専門医集団「LIVES」との連携により、質の高い動物看護師教育を行っていること

3. 学校の教育理念・目標

基本精神

「共存共栄」

Mission (使命)

「業界に必要とされる人材を輩出し、動物業界の発展・繁栄に寄与する」

行動指針

「M」 マナー…礼儀正しさ

「G」 グリット…やり抜く力

「L」 リーダーシップ…思いやり・模範を示す

教育目標

「利他の人」…人の役に立つ人材に

「積極的な人」…自ら考え行動できる人に

「夢を持つ人」…専門性を生かし活躍できる人に

4. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 個人情報保護に対する取り組みの強化
2. 情報セキュリティ管理の徹底
3. 特色ある授業の積極的な展開
4. 教職員採用・育成(FD/SD)計画
5. オープンキャンパス等、学生募集強化策の実施
6. 衛生・安全管理の強化
7. ペット業界との連携による就職支援の強化
8. 教員を派遣した学生インターンシップ研修における動物病院との連携深化
9. Web ポータルを導入した学籍管理マネジメントシステムの構築
10. MGL 学園附属高度動物医療センターの有効活用

5. 評価項目の達成及び取組状況（全教職員が4～1で評価し、その平均値を評価として記載した）

【評価の判定】 適切 4 ほぼ適切 3 やや不適切 2 不適切 1

[1]教育理念・目標

評価項目	評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.8
・教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

(優れた点)

- ・教育目標・実習指針・教育理念等、定められているだけでなく『学生生活の手引き』として学生・保証人に周知している。
- ・学校の教育理念、行動指針などが常に見えるところに掲示してあり、教職員が共通の認識で学生に対し指導を行う事ができる。
- ・愛玩動物看護師が国家資格化したこと、また動物医療のニーズが高まっている現状を踏まえたうえで、時代に適した医療施設を設置することで教育環境が充実している。
- ・理事長が ZPK（全国ペット協会）の常務理事を務めているため、ペット業界との連携が取れており、その時代に業界が何を求めているかを速やかに把握することができる。

(改善を要する点)

- ・愛玩動物看護師が国家資格化したことで、動物病院施設以外のペット業界や動物福祉等にも視野を広げた活躍のできる愛玩動物看護師を育成する必要がある。

[2]学校運営

評価項目	評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明文化されているか、有効に機能しているか	4
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

(優れた点)

- ・MAXHUBを導入し、姉妹校の高崎動物専門学校と連携し充実した実習授業や授業運営を行っている。
- ・組織が構築されており、組織図も明示されているため意思決定もそれに則って適切になされている。
- ・学校のHPでシラバスを確認することができ、教育内容が明確になっている。
- ・WebポータルやGoogleドライブの活用などによって教員間の情報共有などが行われている。

(改善を要する点)

- ・オンラインツールを複数利用しているため、かえって業務が繁雑になってしまっている部分が見受けられる。

[3]教育活動

評価項目	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.9
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.8
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

(優れた点)

- ・教育課程編成委員会の定例開催を通じて、ペット産業界に必要な人物像を確認し、教育やカリキュラムに反映している。
- ・県内外の動物病院施設と連携し、実際の医療現場での研修が行える体制ができている。
- ・各分野ごとに目標とする資格取得に向けての授業シラバスやサポート体制を組んでいる。
- ・日本能率教会による教職員の教育研修を定期的に行い、教育に関する知識と技術を高める場が設けられている。
- ・高度動物医療を実践実際に行っている動物病院や営業しているペットショップなどで実習を行い、実践的な技術知識だけではなく、社会人としてのマナーを身に着けることができる。
- ・海外特別講師であるピクター・ロサード氏に来校いただきセミナーを開催。学生達が間近で世界のトッププロの技術を見ることができた。

(改善を要する点)

- ・教職員に対して実施した各種研修を教育現場に反映するために、教職員一人一人が研修内容を振り返り

日々の教育の中で意識する必要がある。

[4]学修成果

評価項目	評価
・就職率の向上が図られているか	3.8
・資格取得率の向上が図られているか	3.9
・退学率の低減が図られているか	3.6
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

(優れた点)

- ・学修アドバイザー制度により、複数の教員で学生のサポートを行うことで、学生の希望にみあった就活支援や個々にあった学習支援を行うことができている。
- ・全国ペット協会認定の家庭動物管理士試験において2年連続100%の合格実績となった。家庭動物管理士はペットのプロのための資格であり、動物取扱業の認定要件の1つとして認められている資格である。
- ・教務課等で退学者を減じるための改善策をたて、対応したことにより退学率が改善された。
- ・Web ポータルや Google ドライブを活用し、学生の欠席状況の共有を行うことで欠課状況を把握し、学生に合ったサポートが行われている。
- ・学生の就職活動にあたり、求人票の公開・教職員からのサポート連携が取れている。
- ・少人数制できめ細やかな指導ができるため、就職支援・資格取得においても高い実績を残すことができた。

(改善を要する点)

- ・少人数制の特性を活かし、学生への手厚いサポートが今まで以上にできるよう体制を強化していく。
- ・Web ポータルや Google ドライブを活用して退学率の低減を図っているが、ツールを使うだけでなく今以上に教職員による学生への声かけ・働きかけが必要と考える。

[5]学生支援

評価項目	評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.8
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に相談する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.9
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.9
・学生の生活環境への支援は行われているか	4
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.9
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.9

(優れた点)

- ・看護事務を設置し、学修アドバイザーと看護事務が連携し、愛玩動物看護師の国家資格合格にむけてきめ細やかなサポートを行っている。
- ・卒業後でも就職や再就職のために求人票を開示したり、随時相談対応している。
- ・愛玩動物看護師国家試験で不合格となった卒業生に対して、再受験サポートを行う体制が整っている。

- ・ホームページに卒業生登録ページがあり、講習会や販売会等のお知らせが届くようになっている。また、当校は卒業生が来校する機会が多く、卒業生の話を聞きながら就職や学生指導に生かしている。
- ・ZPK（全国ペット協会）の合同企業説明会への参加や学校内での企業説明会の開催により学生の就職サポートを行っている。
- ・Web ポータルの活用により、保証人への連絡を効率よく行えている。
- ・専門実践教育訓練の教育訓練給付金の対象講座の認定を受けているため、社会人の学び直し・再入学に際して学費を軽減することができる。

[6]教育環境

評価項目	評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
・防災に対する体制は整備されているか	4

(優れた点)

- ・学内の実習施設が各実習を行うのに最適な環境であることはもちろんのこと、MGL 学園附属動物高度医療センター、ペットショップ Dog&Cat Waltz、さいとう動物病院富岡総合医療センターなどの実践的な施設で学ぶ環境も整っている。
- ・毎年、防災訓練を実施している。災害時だけでなく不審者への対応なども周知できている。

[7]学生の受け入れ募集

評価項目	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4

(優れた点)

- ・学生募集要項に、卒業までかかる学費がコースごとにわかりやすく記載されており、入学希望者の安心や計画的な学納金準備に繋がっている。
- ・入学希望者に対し、オープンキャンパス等でしっかりと時間を取り、教育成果や当校についての説明を行っている。
- ・実地開催のオープンキャンパスだけでなく、Web オープンキャンパスの開催などにより遠方の保護者や入学希望者への情報発信ができています。
- ・学校案内書・学校ホームページにてカリキュラム・授業計画書・基本情報・資格合格率・就職内定率を周知・公開している。

(改善を要する点)

- ・オープンキャンパスにて入学対象者を対応する学生スタッフの育成がより一層必要となっている。

[8]財務

評価項目	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

(優れた点)

- ・ホームページで財務情報の公開を行っており、誰でも閲覧することができる。
- ・独立監査人による監査が行われ、その結果もホームページで公開していることから適切に監査が行われて

いる。

[9]法令等の遵守

評価項目	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・自己評価結果を公開しているか	4

(優れた点)

- ・自己評価は毎年必ず実施し、全教職員も評価に参加している。またその結果を HP で公開している。
- ・個人情報の管理を職員全員が徹底しており、セキュリティやパスワード管理に危機感を持って行っている。
- ・自己評価を毎年していることで、改善点を見つけることができ改善に向けて積極的に取り組んでいる。
- ・オンラインにて情報共有を行っているため、使用できる端末の管理・パスワードによる管理・情報の取り扱いに関して適切なルールを定めて運用している。

[10]社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.8
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.8
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3.8

(優れた点)

- ・専門実践教育訓練を開講しており、訓練給付金を受けながら学んでいる社会人が複数名在籍している。
- ・地域の小学校や中学校より職場体験として動物に関する仕事の体験希望があった場合は受入対応をしている。
- ・学校動物を貸し出して地域の獣医師による鍼灸講座の協力を行っている。
- ・学内でピアサポーターとして学生スタッフの募集や教育を行い、学生同士の支援や学生自身の成長支援に取り組んでいる。

(改善を要する点)

- ・令和 5 年度はコロナの影響があったため、課外活動・地域活動が制限されている部分もあった。

以上

太田動物専門学校

令和 5 年度 自己点検・評価委員会

委員長 野口 哲 (校長)

委員 熊谷真美 (教員)

委員 上原伸弘 (教務会)